



徳島県立富岡西高等学校 1年次通信④春休み特集号

「自律・人間力・挑戦」
～挨拶・掃除・返事・身だしなみ～

Greeting・Cleaning・Response・Dress Code

1年間たいへんお世話になりました。「富西」に入学をして、早くも約1年が経とうとしています。3月に入り、寒さと温かさが繰り返される日々が続いております。3学期には卒業生を送る予餞会、高校入試、卒業式、年度末考査、球技大会、SA発表会・SS研究などが行われました。また、部活動においても、新人大会などを通して、精神・技術・体力向上を図っています。地元新聞にも1年次生のみなさんの活躍が掲載されており、優秀な成績を収めている様子が見受けられます。3月1日には第77回卒業証書授与式が行われ、3年次生が富西から飛び立っていきました。

さて、春休みを迎えます。まず、①この1年間の様々な活動や身の回りの振り返り、②2年次に向けて1年次の復習、③進路の設定、を行って欲しいと思います。課題も多く出されています。

入学当初より1年次の目標を、「自律・人間力・挑戦」～挨拶・掃除・返事・身だしなみ～の徹底としてきました。少しずつ意識をして生活をしてきましたか？どうですか？この根本がしっかりしていれば、おのずと学力・部活動の結果もついてきます。また、4月当初より「たった一言が心を傷つける、たった一言が心を暖める」という言葉を各クラスに掲示をし、常に一言の大切さを年次団としても伝えてまいりました。年次全体にも浸透しつつあります。ご理解をお願いいたします。

およそ1100日の高校生活のうち、1/3の日々が過ぎました。新学期には2年次生として新制服の新入生を迎え入れます。新2年次生として富西の中核になる年次です。そして2年次6月には高校時代の一大イベント修学旅行が待ち受けております。しっかりその中で、親友を作り、一つ一つコツコツと書いて覚え、考える力を身につけ、将来のことを見据え、自分自身を磨く、保護者とトコトン将来のことを話す、こういうことを継続して実践してもらいたいと思います。よろしく願いいたします。

今回の通信は春休み特集と連絡確認事項などです。一生懸命頑張れ、TOMINISHI 1年次生!!!



1年次からの連絡・確認事項

①春休み課題：4月課題テストの範囲と関連します。この期間にしっかり復習しよう。

②個人面談：4月13日（月）から新クラスで担任の先生との面談が予定されています。

③生活全般：昼夜逆転のような生活リズムに陥らないよう、3学期の生活のリズムを守って生活を送ること。また、交通事故やトラブルに遭わないように気をつけること。また、スマホ及びSNSの使用には特に留意すること。

④家族での体験：春休みの中で、大切な時間を可能な限り家族での活動で過ごしてください。その体験は夢ログに記録しておいてください。例えば、様々な家族団欒、オープンキャンパスを兼ねた家族旅行、農作業体験、ボランティア活動など。

⑤修学旅行：6月16日（火）～19日（金） 宿泊：東京ヒルトンベイ（三連泊） 四国高校総体19日開始予定。

① 6月16日（火） 富岡西高校⇒徳島空港⇒羽田空港⇒東京観光

② 6月17日（水） 総合学習研修⇒自主研修

③ 6月18日（木） デイズニーリゾート（終日）

④ 6月19日（金） 横浜観光⇒羽田空港⇒徳島空港⇒富岡西高校

※ 県高校総体の結果により、四国高校総体参加となった生徒の皆さんには、行程の一部変更を含めて対応していく予定ですので、この件は請承下さい。



一生懸命頑張れ!
富西新2年次生!!

令和8年 3・4月日程（日程が変更される場合もあります）

3月23日（火）合格者説明会（臨時休業）

3月24日（水）終業式

4月 8日（水）始業式・入学式

4月10日（金）第1回課題テスト①

新2年次HR写真撮影・個人面談開始

4月13日（月）第1回課題テスト②

HR役員選挙・授業開始

4月23日（木）第1回PTA役員会

4月29日（木）昭和の日

5～7月日程

5月 2日（土）～6日（水）GW

5月 9日（土）PTA総会

5月 中旬 中間考査

5月30日（土）高校総体開始

6月 5日（金）～8日（月）高校総体メイン

6月16日（火）～19日（金）修学旅行

6月19日（金）～22日（月）四国総体

7月 1日（水）～6日（月）期末考査

AI時代を幸福に生きるには

情報技術によって利便性が高まった生活自体をもとに戻すことはできません。未来に社会を考えたとき、ICTやAIは受け入れざるを得ないでしょう。付き合う人数を増加させるというICTの進化の方向は、人類の進化と同じです。そこにあるのは、付き合う人の人数を増やし、仲間の範囲を広げれば、ビジネスチャンスは増すし、知識も増える、自分の可能性も広がる、という考えです。しかし、人間が共感によってつながる人の数には限界がある。感情を置き去りにして「脳」だけでつながる人間の数を増やせば増やすほど、身体につながりが失われ、人間は孤独を感じるようになります。ぼくたちは、コミュニティの規模に応じて、適切なコミュニケーションツールやルールを使い分けなくてはなりません。本当に信頼できる人とのつながりをつくるには、時間の空間を共有し、五感を使った付き合いをする必要があります。

それは、生物としての人間が、そういう付き合いをして進化してきたからです。その進化の跡は、今の人間社会のいろいろなところに、気がつかないまま埋め込まれています。大事なのは、人間は「生物として」進化してきたことを自覚し、生物としての人間の幸福な在り方、生き方を考え、現代文明と付き合っていくことです。ほかの動物に見習うべきところはあるかもしれませんが、見つめるべきは人間独自の生物学的な部分です。今、その大事な人間の特性がないがしろにされている。だから、人間は人間らしさを失いかけているし、つらい状況にも陥っているのす。・・・・・・・・

「スマホを捨てたい子どもたち」山極 寿一